

材料科学で未来を創りだそう！



北海道大学大学院工学院 材料科学専攻では、科学技術の重点目標であるナノテクノロジー・材料、環境、エネルギーの進展に寄与するため、主要材料である金属系・セラミックス系の高機能化、長寿命化、リサイクルを視野に入れた低環境負荷材料・高効率エネルギー材料等の開発・創製に関する国際レベルの研究開発に参画し、かつ自主的に活躍できる人材の育成を目標にしています。本専攻の教育・研究の特徴は以下のとおりです。

- 材料科学分野に関する高度な専門性を身につけるために必要かつ多彩な科目群を開講しています。
- 英語特別プログラムにおいて全ての科目を英語で開講しています。日本人学生が受講する通常のカリキュラムにおいても、一部の科目を英語特別プログラムと合同で開催することにより、国際的に活躍できる能力の習得・向上を図っています。
- 海外インターンシップ等に対応した柔軟な単位取得計画が可能となるような制度を実施しています。
- 各研究室において、材料科学分野の最先端の研究動向を調査・研究するために、ゼミナールと論文購読を中心とした特別演習を開講し、問題分析力及び問題解決力を養います。
- 修士論文研究について、多種多様な専門の教員からもアドバイスを受けることにより、優れた修士論文研究を支援しています。
- キャリア教育のための材料フォーラム等を企画し、キャリア形成を積極的に支援しています。
- TA業務等を通じて、様々な社会活動で必要となる教育力の養成・向上を図っています。



北海道大学大学院工学院 材料科学専攻でともに勉強・研究し、
新しい材料開発に挑戦して未来を創りだしませんか！

北大・材料科学は修了後の進路に自信有り！

材料科学専攻の修了生は、鉄鋼業、非鉄金属、重工業、電気・エレクトロニクス産業、自動車、教育・研究（アカデミック）など様々な業界で活躍しています。専攻の教職員や修了生OB・OGが、みなさんの就職活動を全力でサポートします！

平成18年度（2006年度）～令和6年度（2024年度）

学部4年生、大学院修士2年生、大学院博士3年生（卒業・修了生 796名） 主要な就職先一覧

日本製鉄59、JFEスチール32、神戸製鋼所31、三菱重工業29、博士研究員26、
JX金属20、大同特殊鋼20、トヨタ自動車18、古河電気工業16、UACJ15、
パナソニック14、日本製鋼所14、東芝13、IHI12、大学教員11、
日本原子力研究開発機構11、日産自動車11、日立製作所11、住友金属鉱山10、
住友電気工業10、日本軽金属9、本田技研工業9、DOWAホールディングス8、
北海道電力7、デンソー6、三菱マテリアル6、札幌市役所6、富士通6、北海道ガス6、
荏原製作所6、日立建機5、日立金属5、トヨタ自動車北海道5、北海道住電精密5

（赤数字は就職者数です）